

第4学年国語科学習指導案

令和3年11月11日(木)

4学年 1組 32名

授業者 石川 一葉

わくわく・どきどき・チャレンジ蔵前

目指す児童像

めあてに向かってチャレンジし、互いに学び合う子

1 単元名 気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう (11時間)

教材名 「ごんぎつね」(光村図書 4年下)

2 単元の目標

知識及び技能	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができるようにする。(1)オ
思考力、判断力、表現力等	・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができるようにする。C(1)エ
学びに向かう力、人間性等	・学習の見通しをもち、読んで考えたことを共有し、思いや考えを伝え合おうとする。

3 単元の評価規準

知識・技能	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。
思考・判断・表現	・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。
主体的に学習に取り組む態度	・学習の見通しをもって、読んで考えたことを共有し、思いや考えを伝え合おうとしている。

4 児童の実態

略

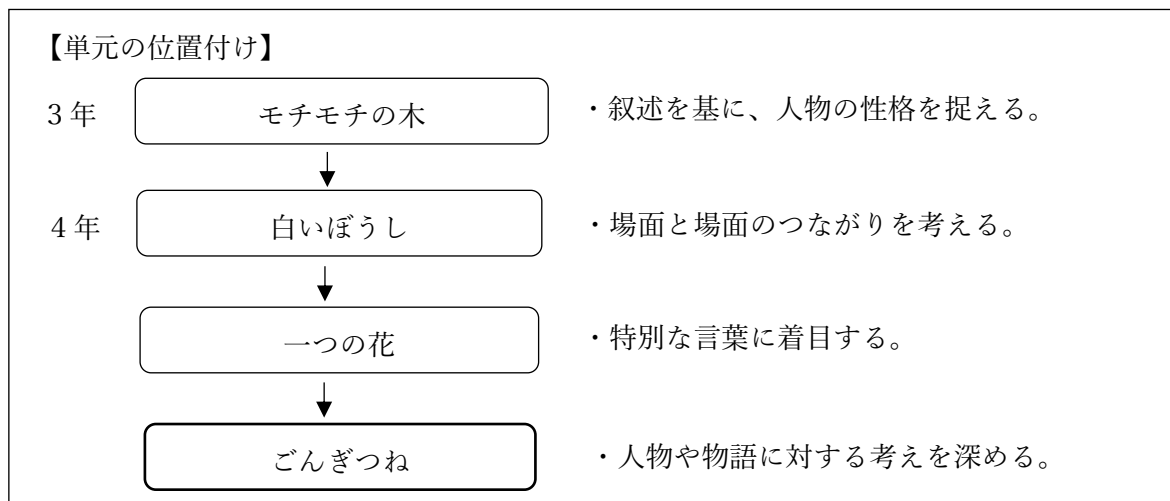
略

5 単元について

本単元では、新美南吉の「ごんぎつね」を教材とし、登場人物の気持ちの変化に着目して読み、理解したことに基づいて、感じたことや考えたことを文章にまとめるという言語活動を行う。考えたことを伝え合う活動を通して、一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、自分の考えを再構築することを目的としている。

また、「ごん」のひたむきな思いや行動に寄り添いながら読むことで、償いをしたいという切ない思いや一方的な共感、認められたい思いなどに気付くとともに、「ごん」と「兵十」の関係や、すれ違いが生み出す結末に対する感想や考えの違い、なぜそのようなことに至ったのかということについて、叙述を基に話し合い、考えを比べることを通して、自分の感想・考えを見つめ直し、作品に対する理解をより深めさせたい。

本単元の指導において重視したいことは、「なぜ、ごんはそのような行動をしたのか」ということを意識させることである。そのことが登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する「読み取り」につながると考える。物語を読んで考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づき、学び合いを通してより豊かに想像することができるようにさせたい。



6 研究主題に迫るための手立て

(1) 本単元において「学びに向かう力」が見られる児童の姿

- (★1) 登場人物の気持ちの変化を具体的に想像しようとしている姿。
- (★2) 感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付こうとしている姿。
- (★3) 学んだことを文章にまとめようとしている姿。

(2) 「学びに向かう力」を向上させるための工夫

手立て① 教材と出会い、学びのイメージを広げる工夫

- ・美しい情景描写をイメージさせる掲示物や、時代背景が理解できるような当時の道具紹介をオープンに掲示することで、「ごんぎつね」という教材の世界観に引き込まれるような出会いをさせ、自我が芽生える4年生の感受性に強く訴えかける。
- ・デジタル教科書の範読を聞き、初発の感想から学習計画を立て、学習の見通しをもたせる。

(「理解の問い」)

手立て② 友達と関わり合って学び合う環境の工夫

- ・学習活動端末支援 web システム「スカイメニュー」のポジショニング機能を用いて感想を共有させる。
- ・友達と学び合うために、最初に叙述を基に自分の考えや感想をもたせる。その後の共有で共通点や相違点に目を向け、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づき、自分の考えに生かせるよう言葉掛けをする。

(「関連の問い」)

手立て③ 学びを自覚し、次の学習につなげる工夫

- ・叙述を基に登場人物の気持ちの変化について学習してきたことを想起し、「なぜ、ごんはそのような行動をしたのか」という思いがもてるよう助言する。(「関連の問い」)
- ・学習計画表を活用し、単元の見通しをもって学習に取り組めるようにする。振り返りでは視点を与えて、学んだことのまとめを書かせるようにする。(「振り返りの問い」)

7 指導計画 (本時は 5/11) ※単元を通して意味調べ、並行読書に取り組む。

時	○主な活動内容	◎指導上の留意点 □評価 ・手立て (★)「学びに向かう力」が見られる姿
1 ・ 2	<p>【構造と内容の把握】</p> <p>○単元の前あてを知り、作品を読むポイントを確認する。</p> <p>○デジタル教科書の範読を聞き、初発の感想から学習計画を立て、学習の見通しをもつ。</p> <p>○新美南吉作品の「お話しうかいカード」を作成することを知る。</p> <p>○作者「新美南吉」についての話を聞く。</p>	<p>◎単元扉の題名やリード文、オープン掲示から物語を想像させ、物語に対する興味・関心を膨らませる。</p> <p>◎全体の感想をポジショニング機能で示す。</p> <p>◎情景という用語を押さえる。</p> <p>主 学習の見通しをもって読んで考えたことを共有し、思いや考えを伝え合おうとしている。</p> <p>・手立て① (★1)</p> <p>◎「お話しうかいカード」のモデルを見せ、イメージをもたせる。</p> <p>◎作者理解を通して、「ごんぎつね」を読む意欲を高める。</p>

<p>3 ・ 4 ・ 5 (本時) ・ 6 ・ 7</p>	<p>【精査・解釈】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ごん」の人物像をまとめる。 ○場面ごとのごんの行動について叙述を基に捉え、ごんの気持ちの変化を想像して読む。 ○まとめの音読をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎物語の1から5までの場面は「ごん」の視点、6の場面は「兵十」の視点で描かれていることに気付かせる。 ◎登場人物の行動や会話、情景を表す叙述を基に、場面と場面を結び付けたり比べたりして、登場人物の気持ちの変化を具体的に考えてまとめさせる。 ◎読み取った登場人物の気持ちの変化を生かして音読させる。 知様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 思登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 主学習の見通しをもって読んで考えたことを共有し、思いや考えを伝え合おうとしている。 ・手立て②③ (★1、2、3)
<p>8 ・ 9</p>	<p>【考えの形成】【共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物語全体を通じて、ごんと兵十の気持ちの変化について考えたことを共有する。 ○物語や登場人物についての考えをまとめ、学んだことを生かして登場人物に手紙を書く。 ○学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学び合いをする際には、共通点や相違点など一人一人の感じ方に違いがあることに気付かせる。 ◎ポジショニング機能を使い、単元の最初の感想との違いを考えさせる。 知様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 思登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 主学習の見通しをもって読んで考えたことを共有し、思いや考えを伝え合おうとしている。 ・手立て②③ (★1、2、3)
<p>10 ・ 11</p>	<p>【考えの形成】【共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新美南吉作品の中からお気に入りの本を選び、「お話しようかいカード」を作成する。 ○新美南吉作品の「お話しようかいカード」を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎並行読書を通して選んだ本の中のお話で紹介カードを作成させる。 主学習の見通しをもって読んで考えたことを共有し、思いや考えを伝え合おうとしている。 ・手立て②③ (★2、3)

8 本時の学習（5/11）

（1）目標

- ・行動や情景から、ごんの気持ちの変化を具体的に想像できるようにする。

（思考力、判断力、表現力等）

- ・学習の見通しをもち、読んで考えたことを共有し、思いや考えを伝え合おうとする。

（学びに向かう力、人間性等）

（2）展開

	学習活動	◎指導上の留意点 □評価 (★)「学びに向かう力」が見られる姿
導入	1 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 行動や情景から、ごんの気持ちの変化を想像しよう。 </div>	
展開	2 ごんが兵十の家に、くりや松たけを持っていく場面を音読する。	◎登場人物の気持ちが特に表れているところにサイドラインを引かせる。 ◎登場人物や場面を確かめる。
	3 ごんの、兵十に対する思いについて考える。 ①ごんになりきって書く。 ②ごんの気持ちの変化を考える。	◎「二人きり」「ひとりぼっち」という言葉から、「二人」「ひとり」とは違う寂しさや罪の重さの伝わり方の差に気付かせる。 思 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 (ノート・発言)
	4 学び合いをする。（「関連の問い」） ①4人グループでの学び合い。 ②全体での学び合い。	◎共通点や相違点に目を向けるよう視点を与え、学び合いの目的意識をもてるようにする。 主 学習の見通しをもって読んで考えたことを共有し、思いや考えを伝え合おうとしている。 (★1、2、3) (ノート・発言)
	5 なぜ、ごんはそのような行動をしたのかについて考える。（「関連の問い」）	◎客観的に考えさせる。
	6 まとめの音読をする。	◎登場人物の気持ちの変化を読み取ったことを生かして音読させる。
	まとめ	7 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。（「振り返りの問い」）

9 板書計画


十一月十一日 木曜日

ごんぎつね

音読

サイドライン

学び合い



挿絵

○ごんがくりや松たけを持っていく場面

☆なぜ、ごんはそのような行動をしたのか。

☆ごんの気持ちの変化

まとめの音読

ごんと兵十の関係についてまとめましょう。

行動や情景から、ごんの気持ちの変化を想像しよう。

10 学習計画表

／ （ ）	／ （ ）	／ （ ）	／ （ ）	／ （ ）	／ （ ）	／ （ ）	／ （ ）	／ （ ）	／ （ ）	／ （ ）	／ （ ）	日にち
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		時
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 15%;">「お話ししようかいカード」を 発表しよう。</div> <div style="width: 15%;">「お話ししようかいカード」を 作ろう。</div> <div style="width: 15%;">学んだことを生かして登場人 物に手紙を書こう。</div> <div style="width: 15%;">物語や登場人物についての考 えをまとめよう。</div> <div style="width: 15%;">行動や情景 の気持ち、ごん の変化を想ぞ うしよう。</div> <div style="width: 15%;">物語の設定をたしかめよう。</div> <div style="width: 15%;">物語を読み、学習計画を立て よう。</div> </div>											めあて	
											ふりかえり	

「ごんぎつね」学習計画表

四年組（

※3時から7時までの読み取りの空欄は、学習計画を立てる際に児童と一緒に考えて記入する。